

若き津波防災大使
(日中植林・植樹国際連帯事業)
参加者の感想(抜粋)

(※「世界津波の日」2017 高校生島サミット in 沖縄は、以下「サミット」と記載)

○キリバス

日本の人たちは、津波の避難訓練の際、本当の津波ではないのにも関わらず、熱心に耳を傾け、協力していた。また、誰もが真剣に取り組んでいた。実際にこのような状況を体験することは、将来大いに役に立つと思う。

○クック諸島

分科会では、他の国からの仲間に、私が過去に経験した津波の話をし、意見交換することができ、とても有意義だった。過去の津波で深刻な被害が出た原因は、津波に対する知識不足であったことから、こうした活動を自国の人々に伝え、津波に対する関心を高めることはとても重要だと思う。私たちが成功し幸せであるために最も大切なことは、正しい知識を得ることと、備えておくことである。

○サモア

東京から沖縄そして宮古島への旅は、災害に関して私たちが多くのことを経験する素晴らしい機会となった。日本の文化や言語に触れることもこのサミットの目的であった。サモアと比べると日本の生活水準、経済や福祉の状況も異なるが、今回のサミットの後も、交流を続け、次世代のためにも、今後もサモアの人々を日本に招待してほしいと思う。記念植樹は敬意を払って執り行われたが、この経験は私にとって貴重で、人生における記念すべき出来事になるだろう。このサミットはたくさんの思い出が詰まった宝物と言えるかもしれない。今後の日本の安全を祈っている。

○ソロモン諸島

植樹も環境に関するプログラムも、大いに満喫できた。外国に行くのは初めてで、世界津波の日のプログラムのすべての活動が本当に楽しかった。日本は先進国であり、ここに書き尽くせないほど多くのことを日本で初めて見た。私の国ソロモン諸島は発展途上国で、日本とは大きな違いがある。日本に来て様々なことを経験できていることが本当に嬉しいし、日本での滞在はとても楽しい。いつか戻ってきたいと思う。

○ツバル

日本に来てサミットに参加する機会を得たことは、わくわくと共にとても価値のあることであった。私は、今回、災害の際、特に津波に襲われた際に、すべき大切なことを学ぶ貴重な経験を得た。今回このようなこと全てを学ぶことができたことは私にとって重要な意味を持つ。学んだこと全てを将来、若い世代に伝えて行くことで、皆が備えておくことができ、結果、命を救うことができるからである。

○トンガ

サミットに招待されたことは、素晴らしい経験であった。他の国の高校生から新しい考え方をたくさん得ることができた。私は得た知識を、国の未来を担う私よりも若い世代に伝えて行きたいと思う。

○ナウル

このサミットで津波について本当に深く知ることができた。そしてそれを自国の人々に伝えるつもりである。津波の記念碑のおかげで、津波の歴史や日本で最近起きた津波について学ぶことができた。日本で津波のことをしっかり学んだので、自国に帰って津波に関連して(特に啓蒙するという点で)人々の役に立ちたいが、日本にはそういったことを支援してく

れる親切で知識を持った人が大勢いるので、今後も日本と良い関係を築きコミュニケーションを取っていききたいと思う。

○ニウエ

このプログラム全体を通して、災害（津波）に関する防災への理解を深めることができただけでなく、多くの人たちが助け合ってより安全な世界で暮らせるように活動することへの認識を高めることができた。このサミットに参加できたことをとてもありがたく思う。ニウエに帰ったら、ニウエの人々の未来のために、国をより良い場所にするよう再構築や再評価をしたい。このサミットが今後何年も続いていくことを望む。これは間違いなく、単に国が集まるサミットではなく、お互いに助け合うユニットとしてのサミットを意味していると思う。

○バヌアツ

訪日中に気付いたことは、イベント全体の進行に、誰もが真剣に取り組んでいたことだ。だからこそ、イベントが成功し、また実り多きものになったのだと思う。皆様の心遣いに感謝し、日本と日本人を通して知った日本文化全般に敬意を表す。

○パプアニューギニア

このサミットに参加できたことは素晴らしい機会となった。活動すべてがとても刺激的だった。個人的には、分かりやすく、知識が詰まった行動計画の発表を聞いたことが、一番印象的であった。明快な発表のおかげで、私は知識を深めることができた。全体として、このサミットに参加できたことは、私にとって本当に良い経験となった。日本は、人々が礼儀正しく辛抱強く、謙虚で、非常にいい国だと思う。私はパプアニューギニアに戻るが、心は日本に残していこうと思う。日本と日本のすべてが大好きだ。勉強するために、あるいは、個人的な旅行で、いつか再び戻って来たいと思う。サヨナラ、ニホン。

○パラオ

大被害をもたらした明和の大津波の話は衝撃的だった。内陸深くまで巨大な岩を運ぶほど高い波など、今でも想像すらできない。大津波の犠牲者を悼む慰霊碑を訪れて、実際に貝殻を見つけたが、それは昔起きた大津波の証拠かもしれない。サミット期間中は、他の国々の行動計画について学んだが、それをパラオに持ち帰り、その計画を実践するか、実践されるようにできる限りのことをしたい。

○フィジー

サミットは有益で、またどのようにして災害に備えるべきかについての情報をしっかりと身につけることができた。それは大切な命を守るための第一歩である。全体を通して、素晴らしい議論が交わされ、とても有益なものとなった。

○マーシャル

自然災害に備えるうえで多くの経験をする事ができたが、まさにそれを学びに来たのであり、サミットは私の期待に十分応えてくれた。日本に来ることができて本当に良かった。私の島は小さく、備えておくことの重要性を理解している人は少ないので、皆がより多くの知恵と理解を得られるように、私が学んだすべてのことを島の人たちに伝えたい。

○ミクロネシア

このサミットは災害に対して、人々の注意を向けるとてもいい機会であった。このサミットに参加できたことに感謝している。今回成し遂げたことは、私たちの将来に大いに役立つだろう。今後、災害が起こった時、私たちはしっかりと立ち向かうことができると思う。今回学んだ知識と技術をしっかりと身につけ、それらを周りの人々と共有し、ミクロネシアでも広げていこうと思う。皆で協力することでより多くを学び得ることができ、また皆で協力することでそれぞれの国が強くなり、またいついかなる時にも備えておくことができるだろう。

○スリランカ

私たちは異なる国籍を持つたくさんの人たちに会うことができた。一緒に活動し、異なる国籍の人たちと素晴らしい経験ができた。だれもが謙虚で親切だった。このような機会を与えてくださり、ありがとう！！

○モルディブ

今回のサミットは大変楽しかった。日本の文化について見識を深め、災害への対処について知識を得ることができた。今回の訪問では、積極的に質問し、しっかりと耳を傾けることにより、普通の観光旅行では味わえない体験ができたと感じている。日本の他、ソロモン諸島、パプアニューギニア、トンガについても学ぶことができた。今後もこれらの国々の人々と連絡を取り合っていきたいと思う。モルディブと日本はとても似ているところがあり、両国がこれからも親しい関係を保っていけることを願っている。近いうちに日本を再訪したい。アリガトウ！

○モーリシャス

とても良い経験ができた。日本や他の国の多くの人たちと、津波について議論しただけでなく、友達になることができた。沖縄で日本文化について多くのことを学び、観光名所や景観を見に行くことができた。記念植樹で木を植えたのも楽しかった。津波の知識を得たこと、友だちができたことは、将来の私たちのため、そして私たちの国のために役立つだろう。是非また日本を訪れたい。

○セーシェル

私はたくさんのことを学んだ。津波や地震の時、どのように避難したらいいかを知ることができた。セーシェルに帰ったら、私が日本滞在中に学んだことを伝えていきたいと思う。ありがとう、日本。

○コモロ

津波が起こった時どのように対処すればいいかについて多くの知識を得ることができた。様々な国から来たたくさん生徒たちと出会い、文化や伝統の交流もできた。日本の生徒やスタッフの方は私たちにとても親切にしてくれた。

訪れた場所のことは、永久に記憶に残るであろう。自分たちの国の悪い点を変えていくことにも役立つであろう。私は学んだことを大切に、それを自分の国に伝えるつもりである。私の国も日本のように体制が整えられることを願っている。

サミットに参加できたことはとても嬉しく、他の国々から来た素敵な生徒たちと出会えたことも良い経験となった。

○インドネシア

植樹活動、現地訪問、環境や防災その他の活動に関する交流などのプログラムに参加したが、どれもとても興味深かったというのが私の印象である。防災については次の3点を学んだ。

- 過去の事例を知り、そこから教訓を得ること
- 災害に備えることに
- 災害が起きた後の行動について

他の国の人たちとも友達になることができた。

○アメリカ

このプログラムのおかげで自然災害についての知識が広がった。今こそ災害に備えるべき時で、今こそ行動を起こすべき時だということを知った。日本と日本人、日本の文化についても多くを学ぶことができた。学んだこと、得た知識を私の住む地域の人たちと共有し、将来役に立つようにしたいと思う。沖縄の高校を訪問して、津波のときの避難経路についての知識も得ることができた。

○中国

環境や防災分野での交流はとても意義がある。自国の経験や防災対策を参加国の間で共有し、各国がそれぞれの分野で改善に役立てることで、災害による損失を軽減することができる。

今回の交流を通して、今後はもっと防災の知識を身につけ、暮らしの中のちょっとしたところに気を付けていかなければならないと思った。例えば、使っていない電気機器はプラグを抜く、見やすい所に救急箱を置く、高い所に物を置かない、台風の多い季節は常に天気予報に注意するといったことだ。

中国は、国の政策や政府の災害対策については比較的整備されているほうだと思うが、国民の間の防災意識の浸透や防災訓練の実施という面では、まだ不十分だと思う。この点、日本の取り組みは優れていて、日常的に防災訓練を行い、積極的に防災知識の普及に努めている。私たちも見習わなければならない。帰国したら、まず家族や友だち、先生や同級生に、より一層防災への理解と関心を深める必要を伝え、災害に見舞われた時、みんなが上手く自分たちの身を守れるように、さらに他人の手助けもできるようにしたいと思う。

○チリ

日本は美しくとても秩序だった国で、日本のすべてが大好きになった。チリがその技術や生活様式の多くを取り入れることを願っている。日本の人々と交流を続け、また日本に戻ってくるのができたら最高だ。

○ペルー

まず私は、今回のメンバーに選ばれたことをとても光栄に思う。非常に有難いことであり、また大いに楽しむことができた。他の国々の防災に対する考え方に興味があり、ここで新しく得た知識をペルーの人々にも伝えようと思う。また、学校や与那覇地区防災センターを訪問したことも、私たちの役に立ったと思う。最後に、文化交流を通じて、新しい人々に出会うことができ、また様々な経験や考えを共有できる素晴らしい機会となった。ありがとう！！

○タイ

一番感動したのは、スタッフの方方で、誰もがとても思いやりがあり、いつも私たちの面倒を良くみてくれた。他の国の人々から防災計画についてたくさんのことを学んだ。学んだことを自国に持ち帰り、伝えていきたいと思う。